

各 位

## 平成 15 年 12 月期第 1 四半期の業績等の概況

上場会社名 株式会社 ダヴィンチ・アドバイザーズ  
(コード番号 4314 )

本社所在地 東京都中央区東日本橋二丁目 2 4 番 1 4 号

問合せ先 チーフ・フィナンシャル・オフィサー  
氏 名 阿 部 尚 志

T E L ( 03 ) 5825 - 1711

## 1 業 績 (百万円未満は切捨、小数点 1 位未満四捨五入)

## (1)平成 15 年 12 月期第 1 四半期 (平成 15 年 1 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日) の業績

	15 年 12 月期第 1 四半期 (当四半期)	対前年同期増減率	14 年 12 月期第 1 四半期 (前年同四半期)	参 考 前期 (通期)
売 上 高	287 百万円	20.1%	359 百万円	1,844 百万円
営 業 利 益	152	133.8	65	890
経 常 利 益	230	22,900.0	1	675

## (2)部門別の売上高内訳

	15 年 12 月期第 1 四半期 (当四半期)		対前年同期増減率 %	14 年 12 月期第 1 四半期 (前年同四半期)		参 考 前期 (通期)	
	金 額 百万円	構成比 %		金 額 百万円	構成比 %	金 額 百万円	構成比 %
アクイジション フィー						235	12.7
アセットマネー ジメントフィー	241	84.3	100.8	120	33.5	492	26.8
ディスボジ ションフィー	38	13.3	660.0	5	1.5	70	3.8
インセンティブ ションフィー	1	0.3				266	14.4
家賃収入				228	63.5	740	40.2
その他	6	2.1	20.0	5	1.5	38	2.1
合 計	287	100.0	20.1	359	100.0	1,844	100.0

### (3) 主な資産・負債の変動について

項目	15年12月期第1四半期	増減額	前期末
(資産)	百万円	百万円	百万円
現金・預金	2,774	1,691	1,083
ソフトウェア	15	6	9
長期貸付金	4,995	1,834	3,161
(負債)			
短期借入金	3,315	2,185	500
テナント保証金	2,253	1,060	1,193

- (注) 1.項目ごとの増減額が前期末総資産額の1%を超えるものを記載しております。  
2.当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。  
3.各項目の主な変動要因は、下記のとおりです。
- (1) 現金・預金：増加原因は、大型投資物件のための借入を手当てしましたが、延期されたため一時的に残高が増加したためです。
  - (2) ソフトウェア：増加要因は、新会計ソフトを導入したためです。
  - (3) 長期貸付金：増加原因は、ファンド組成開始までの数ヶ月間子会社へ貸付したためです。
  - (4) 短期借入金：増加原因は、ファンド用のコ・インベストメント向け借入れが増加したためです。
  - (5) テナント保証金：増加原因は、ファンド組成のためにマスターレシーの子会社での保証金が増加したためです。

## 2 業績の概況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済及び景気は、依然低迷を続けております。

このような経済環境のもとですが、当第1四半期連結会計期間は、ファンド組入れ物件も3物件取得し順調に滑り出しました。

なお、前年同期においては、つなぎファンドにおける家賃収入(233百万円)が計上され、売上がその分かさ上げされておりますが、当第1四半期連結会計期間についてはこの種の売上の計上はされておられません。 いっぽう営業利益及び経常利益は、前年同期比大幅増となりました。

各フィーにつきましては、アセットマネジメント・フィー241百万円、ディスポジション・フィー38百万円、インセンティブ・フィー1百万円及びその他フィー6百万円でありました。

## 3 当期の見通し

当第1四半期連結会計期間においてアセットマネジメント・フィーの大幅増加要因は、管理資産が前年同期に比べ増加したためであり、このまま推移すると今期の業績予想見通しとしては既に発表しています売上2,250百万円(前期比22.0%増)、当期利益630百万円(前期比19.3%増)はほぼ予想通りに達成できるものと考えております。

## 4 その他

該当事項は、ありません。